

農産FAX情報 第11号

令和6年10月15日
ゆとりみらい21推進協議会 指導部会 幕別町忠類地区

1 有機質肥料の散布・臭気対策

- ・たい肥の散布は、硝酸態窒素の地下水への流亡を抑制するため地温が十分低下した10月中旬以降に散布しましょう。また、積雪や土壌凍結が入る前に終わましょう。
- ・散布後はすみやかに耕起し、たい肥を土壌と混和しましょう。

2 秋まき小麦

○雪腐病の防除

- ・薬剤散布後に降雨があると防除効果が低下する恐れがあります。降雪が始まる11月中旬をめぐりに薬剤散布を行いましょう。降雨により再度散布する場合は、使用回数に注意しましょう。

表1 雪腐病の防除薬剤例

薬剤名	系統	希釈倍率 (倍)	使用時期 (収穫前日数)	使用回数 (以内)	大粒 菌核病	黒色小粒 菌核病	褐色小粒 菌核病	紅色 雪腐病
トップジンM水和剤	MBC	2,000	根雪前	3	○	—	—	—
フロンサイドSC	他合成	1,000		2	○	○	○	○

※トップジンM水和剤は赤かび病、うどんこ病、眼紋病にも登録があるため、本剤の使用を計画する際は使用回数に注意しましょう。

表2 雪腐病防除 再散布の目安

薬剤名	希釈倍率 (倍)	散布から根雪までの降水量
トップジンM水和剤	2,000	積算降水量80mmもしくは日最大降水量40mm
フロンサイドSC	1,000	積算降水量120mmもしくは日最大降水量65mm

収穫作業時の機械調整は、**必ずエンジンを停止してから！**

日没が早くなっております。**早めのライト点灯・反射版の取り付けを！**